

経済学研究科附属経済研究所 サブ・クラスター研究継続申請書

平成 28 年 3 月 22 日

経済学研究科附属経済研究所長 様

〔申請者；研究代表者〕

所属（専攻）経済学専攻

補職名 准教授

氏 名 木谷 名都子

平成 28 年度につき、下記のサブ・クラスター研究を継続したく継続申請を提出します。

1. 研究課題名	両大戦間期における諸問題の制度・歴史分析 —現代世界へのインプリケーション
2. 研究期間（5カ年度以内）	平成 27 年 4 月 ～ 平成 32 年 3 月
3. 共同研究組織 研究代表者（所員） 共同研究者（所員） 客員研究員	<p>（氏名・所属クラスター・補職名）</p> <p>木谷名都子・経済学系クラスター・経済学研究科准教授</p> <p>藤田菜々子・経済学系クラスター・経済学研究科教授</p> <p>山口明日香・経済学系クラスター・経済学研究科専任講師</p> <p>井上泰夫・名古屋外国語大学教授</p>
4. 平成 28 年度の研究計画	<p>◆平成 28 年度は、各々下記の課題について考察を進める予定である。</p> <p>（木谷）—両大戦間期イギリスをめぐる通商問題とその対策の検討</p> <p>（藤田）—人口論・少子化対策論の考察を通じた 1930 年代スウェーデンにおける福祉政策の検討</p> <p>（山口）—木材貿易の考察を通じた両大戦間期の環境・資源問題の検討</p> <p>（井上）—1920 年代から 1930 年代への、規制緩和から規制強化への政策転換が、現代資本主義にとりどのような帰結を生み出したのか</p> <p>◆研究報告会を開催し、前年度の研究内容をふまえて各自が展開する論点をさらに明確にするとともに、相互に議論を深め、次年度の課題について検討する。報告会開催時期および回数は、2016 年 5 月（あるいは 6 月）・2017 年 2 月の年 2 回を予定している。</p>